

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会評価報告書
(県民文化会館)

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立県民文化会館の管理運営状況の評価した。

1 対象施設

鳥取県立県民文化会館

2 指定管理者

公益財団法人鳥取県文化振興財団（鳥取市尚徳町101番地5）

3 指定管理期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日

4 委員会

(1) 開催日・場所

第1回委員会：令和4年9月14日（水）午後1時30分から3時30分（県民文化会館）

第2回委員会：令和4年10月20日（木）午前10時から11時30分（県民文化会館）

(2) 委員

氏名	所属等
大久保 計良（委員長）	西日本税理士法人（税理士）
筒井 宏樹（副委員長）	鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授
加藤 京子	鳥取おやこ劇場運営委員長
松田 千絵	鳥取県合唱連盟理事
村上 真弓	鳥取県地域づくり推進部文化振興監兼文化政策課長

(3) 評価方法

令和元年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、5人の委員の審議により各審査項目の評価点を決定した。総括点は、各評価項目評価点数より平均値を算出し、委員の審議により決定した。

審査項目	主な審査内容
管理運営の状況	・開館時間、休館日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・法令等の遵守 ・利用者意見の把握・対応
維持管理の状況	・施設設備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ・事故の防止策、緊急時の対応
事業等の状況	・利用促進のための事業実施内容 ・施設の設置目的達成のための事業実施内容
利用状況、収支の状況	・施設の利用状況 ・利用料金の徴収、減免の状況 ・管理運営にかかる収支状況

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(4) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による管理運営状況の評価は「1」と決定した。

審査項目	評価点数
管理運営の状況	1
維持管理の状況	1
事業等の実施状況	1
利用状況、収支の状況	1
総括	1

イ 運営評価委員からの主な意見

①管理運営の状況について

<5段階評価の調整点>	1点
<評価の理由・意見等>	
○ウェブ申込みやキャッシュレス決済の導入のほか、オンライン会議の普及に伴う利用者のニーズに対応した設備の導入など、利用者の利便性向上に繋がる取組がなされている。	
○複数の手法で利用者の声を把握し、要望等に対して迅速に対応するとともに、県内各地域で地域懇談会を開催するなど、施設運営や事業実施についての意見把握に努めている。	
○利用者の利用実態に応じた利用区分に見直し、利用者の利便性向上、利用促進を図った。	
○利用者ニーズに基づく有料・無料のきめ細かなサービスを提供している。	

②維持管理の状況について

<5段階評価の調整点>	1点
<評価の理由・意見等>	
○常に清潔感のある管理がなされており、また建物周辺についても清掃頻度を増やすなど美化活動を行っている。	
○ユニバーサルトイレ入口に音声誘導装置を設置するなど、施設のユニバーサルデザイン化に取り組んでいる。	
○夏場に保冷枕やフリースペースに冷風機を設置するなどの熱中症対策に取り組んでいる。また、災害等だけでなく、差別落書、嘔吐物、熱中症、不当要求など細部にわたってマニュアルを策定	

<p>し、施設利用者の安全対策に努めている。</p> <p>○ホールの客席抗菌処理、各会議室・トイレ等への除菌・消臭器を設置するなどコロナ感染対策に取り組んでいる。</p> <p>○事故、緊急時についても適切な準備体制がとられている。</p>

③事業等の実施状況について

< 5段階評価の調整点 >	1点
< 評価の理由・意見等 >	
<p>○人材育成や才能ある若手の発掘、県内活動者等と協力したオリジナル作品作りなど、中期・短期で工夫された事業に取り組んでいる。</p> <p>○県の文化拠点施設として、県内文化施設との情報交換や技術支援など指導的役割を担うとともに、地元の大学や高校、芸術活動団体に対する舞台技術研修会の開催など、地域との連携協力に取り組んでいる。</p> <p>○アウトリーチ事業を積極的に展開するとともに、市町村と連携した実演芸術の鑑賞機会を提供するなど、鑑賞者の裾野の拡大と活動者の育成に努めている。</p> <p>○地域の企業等との協働を目指す「パートナー企業制度」や専門的見地からの助言を得るための「アドバイザースタッフ制度」の導入といった新しい取り組みが行われており評価できる。</p> <p>○文化芸術事業継続のため、文化庁や公益法人、民間等の助成金の積極的な獲得に努め、それを活用した事業実施に取り組んでいる。</p>	

④利用状況、収支の状況について

< 5段階評価の調整点 >	1点
< 評価の理由・意見等 >	
<p>○今期（コロナの影響が及ばない令和元年度）のひと月あたりの利用料収入は、ほぼ前期並みの収入額を確保しており、またコロナ禍においても経費の節減対策に取り組みながら、各年とも安定的な収支状況を達成している。</p>	